



図書館のこれからの役割について

保健医療学部作業療法学科
教授 仙石 泰仁

インターネットが飛躍的に発展し、様々な情報をコンピュータのみならずスマートフォンなどから簡単に入手できるようになった。昔は（という若い人には嫌がられるかもしれない）論文を書くために、他大学の図書館や行政機関の保管図書、国会図書館などに出向いて複写していたことを考えると隔世の感がある。

大学図書館の役割は研究・教育及び学習活動支援に必要な資料や情報資源の収集、組織化、蓄積を行い、効率的な利用支援を提供することが一つの側面として考えられる。インターネットはこの側面においては最大の効果を発揮し、様々な検索技術やデータベースと組み合わせることで我々に大きな恩恵をもたらしている。本学の図書館や情報センターは、関係職員の献身的な努力により、私が知っている限りではあるが最も使いやすい図書館の一つと感じている。一方でオンライン雑誌の価格が高騰し、我々が必要とするすべての情報が無料で手に入ることが、年々、困難な状況になってきている。そのため、インターネット上にある検索サービスや主題等に特化した書籍データベースなど、様々な情報収集方法を、図書館のサービスの中に組み入れることも求められてくると考えている。更に人工知能技術の発展により、出版物だけでなく画像データなど様々なデジタルデータを単に統合検索するだけでなく、選択的に連結させていくことで新たな知識を創造できる可能性すらあるとされている。将来的には図書館利用者の志向や研究内容に応じて、読む必要のある資料を自動的にナビゲートする、新しい因果関係のヒントを提供するといったことも図書館の機能として実現されていくのかもしれない。この様な新たな技術の利用に関しては、図書館や情報センターと学生、教職員が協力して挑戦していく課題であると考えている。

大学の使命の一つとして、幅広い教養と専門知識を身に付け、社会の中で役立つ人材を育成するために、様々な機会を提供することが挙げられる。本大学では高等学校を卒業した学生たちに、医学・医療の専門職として高度な専門知識を教授することを目的としているが、その内容が年々増加し教養教育に割ける時間数が減少してきている。また、教養教育も専門教育につながる基礎的な内容に特化する傾向もあり、広い視点からの教養が得られにくくなってきていることが危惧される。実際に学生の授業評価などでも専門教育に直結しない科目に対して、否定的な意見を述べる学生もいる状況にある。医療の本質が豊かな人間理解や社会的共有資本としての役割にあることを鑑みると、教養教育の充実は必要不可欠であり、図書館もその重要な拠点の一つとしての役割を深化させていくことが求められていると考えている。学生の生活調査からも読書を習慣とする学生が少なくなっており、読書から得られる倫理観や広い視野といった側面を気づかせるようなセミナーの開催なども、図書館として今後取り組むべき内容ではないかと考える。図書館は自己学習の場としての空間を提供することも必要であるが、自己の教養を広げる場所として学生自身が積極的に利用する土壌を育むための場として、様々な取り組みを促進していくことを望んでいる。



リニューアルした学術文献検索ツールのご紹介

■文献ナビゲーションシステム「SFX」

1 サービスの配置、デザインを一新

SFXは、PubMedなどの文献データベース検索結果に対し、本学で閲覧できる電子ジャーナルや他大学からの文献取り寄せなどの文献入手サービスを一元的に提供します。新インターフェイスでは、直感的に操作ができるようにサービスの種類に応じ、4つのタブで区分し、表示しています。

2 オープン・アクセス・ジャーナルへの対応

oaDOI、BASEなどのオープンアクセス・ジャーナル誘導システムとの連携により、オープンアクセス・ジャーナルへの誘導精度の向上をはかりました。

3 通信ポートの標準化

SFXサービスでは通常のhttpポート（80）とは異なるポートを使用してきましたが、今回の改修により通常のhttpポートに改めました。



図1：SFX新インターフェイス画面

■統合検索システム「PIRKA（ピリカ）」

PIRKAは、本学所蔵の資料（電子コンテンツ含む）や国内外の文献検索データベース等を単一のインターフェイス上で検索を行うとともに、SFXと連携して電子ジャーナル及対応心学外文献複写申込フォームへの誘導、その他EndNote Basic等との連携による検索結果の保存機能等を持つシステムです。

システムのバージョンアップにより変更された今回のインターフェイスは、以前のバージョンと比べて大変シンプルになっています。検索窓が画面上段の中央付近に大きく表示され一見、Googleのようなイメージですが、**各種データベースをプルダウン形式で選択できるように変更**されています。

データベースの選択項目については、これまでと同様に「所蔵検索」、「電子コンテンツ」、「国外文献データベース」、「国内文献データベース」、「研究成果」になっています。なお、**医中誌Webが検索対象データベースに追加され**、益々検索の幅が広がり、使い勝手の良いものになりました。



図2：PIRKA新インターフェイス画面

今春退職予定の教職員及び卒業、課程修了予定の皆様へ

1. 提供サービスについて

4月以降、学内所属員から外れる方については、下表のとおりになります。※の項目については、必ず手続きを行ってください。

区分	変更内容	備考
メールアカウント	変更なし	本人の申し出以外、継続利用
リモートアクセス	利用不可	契約上の制約による
※メーリングリスト	管理者の場合は、変更する	ホームページから申請（注1）
※（重要）マイクロソフトオフィス	アンインストール必須	アンインストール作業を実施の上、報告書を提出（注2）

注1：メーリングリストの管理者変更

<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/contact/form5/>

注2：マイクロソフトオフィスのアンインストールメディア報告書

<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/uploads/uninstallform.doc>

2. IDカード更新手続きについて

区分	4月以降	現IDカードの有効期限	変更手続き	IDカード受け渡し
医学部学生	本学研修医	4月1日(日)	不要	臨床研修センター
	学外研修医	3月16日(金)	利用申請書提出	図書館
保健医療学部学生	附属病院勤務 (看護部)	4月1日(日)	不要	看護部
	附属病院勤務 (看護部以外)		利用申請書提出	図書館
	学外勤務	3月16日(金)	利用申請書提出	図書館
課程修了者	大学院、研究生	3月31日(土)	不要	所属講座、教室
	上記以外	3月31日(土)	利用申請書提出	図書館
教職員	学外勤務	3月31日(土)	利用申請書提出	図書館

注1：学生証(IDカード)は、学務課へ返却下さい。

注2：「学外研修医、学外勤務」となる方のIDカード発行は、道内在住及び道内勤務者に限る。

注3：課程修了者は、大学院生、研究生、聴講生

※利用申請書提出の開始日は、3月1日(木)です。

平成30年度国外学術雑誌整備検討結果の公開について

毎年度の国外学術雑誌の購入については、購読希望調査結果などをもとに、当センター運営委員会で検討が行われています。平成30年度については、下記のとおり利用頻度の低い電子ジャーナル、電子ジャーナルと併読している冊子体(表1)について購読中止を行いました。なお、購読中止タイトルの詳細及び検討資料につきましては、下記ホームページで学内限定により掲載していますので、ご参照ください。

<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/3063/>

当センターでは今後も学術雑誌の整備充実に努めたいと考えております。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。また、学術雑誌購読について、ご不明の点やご意見などございましたら図書係(内線24160、e-mail: serial@sapmed.ac.jp)までご照会ください。

表1. 総合誌6誌(冊子体中止)

誌名	出版社
BMJ: British Medical Journal	BMJ Pub Group
JAMA	Am Med Assoc
Lancet	Elsevier
Nature	Nature Pub Group
New England Journal of Medicine	Massachusetts med Soc
Science, New Series	Am Assoc Advance of Science

表2. 平成30年度整備誌数(予定)

区分	H29年度		H30年度				差異	
	購読誌数 (①)	提供誌数 (②)	新規購読 (③)	購読中止 (④)	購読誌数 (⑤=①+②-③)	提供誌数 (⑥)	購読誌数 (①-⑤)	提供誌数 (②-⑥)
冊子体								
情報センター	56	-	0	15	41	-	-15	-
講座	37	-	0	4	33	-	-4	-
合計	93	-	0	19	74	-	-19	-
電子ジャーナル								
情報センター	210	5,081	0	17	193	6,556	-17	1,475
講座	69	-	0	11	58	-	-11	-
合計	279	5,081	0	28	251	6,556	-28	1,475

註1. 情報センターの冊子体H30契約「中止」は、個別契約誌9誌と総合誌6誌

2. 情報センターの電子ジャーナルH30契約「中止」は、Cambridge購読中止3誌と個別契約14誌

3. 電子ジャーナル提供誌数は、包括契約コンソーシアムによる閲覧数を含む誌数

4. 提供誌数の差異は、Cambridge提供誌を中止し、ProQuest提供誌を含む(重複誌は、調整済)

情報センターセキュリティ便り

2018年2月9日、韓国において平昌オリンピックが開催されました。オリンピック自体は非常に喜ばしいイベントではありますが、オリンピックのような全世界的なイベントに伴い、不正メールや不正アクセス等といったネットワークセキュリティを脅かす攻撃が非常に増える傾向にあります。皆様におかれましても、使用しているネットワーク接続機器(Windows, Mac等)のOS等のソフトウェアアップデート、ウィルス対策ソフトの導入にご協力をお願いいたします。

さて、上記にもありますが、情報センターではセキュリティ関連で通知する度にソフトウェアアップデートとウィルス対策ソフトの導入をお願いしております。何故、これらの対応が必要なのかご存知でしょうか？今回はソフトウェアアップデートが必要な理由についてご説明いたします。

ソフトウェアアップデートは主に2つの理由で行われます。1つは機能向上のため、もう1つは脆弱性対応になります。多くの場合、これらのアップデートについて詳細がアップデート配布と共に公開されます。脆弱性の場合、「どのような脆弱性なのか」「どうやって攻撃するのか」といった情報が公開される事があります。これは、ユーザーや管理者への情報公開として行われておりますが、残念な事に、これらの公開情報を元に、ハッカーは脆弱性を攻撃するツール等を作成しております。そして、アップデートを行っていないPC等を狙って攻撃を行っております。

情報センターでは上記のような脆弱性情報について、学内メーリングリストを用いて皆様に通知しております。特に、「緊急」という文字列が件名にある場合は、既に脆弱性を用いた攻撃が行われているものになります。重ねてのお願いとなりますが、皆様におかれましてはOS等のソフトウェアアップデートをよろしくをお願いいたします。

なお、ウィルス対策ソフトについては、学内ネットワークのセキュリティ強化に向けて、4月から大学統一ソフトを配布する予定です。詳細は今月中にお知らせしますが、ネットワークに接続するPC等へのインストールについて御協力をお願いいたします。

■連絡先■

総務・システム係
内線: 22390、22490
Email: icccj@sapmed.ac.jp



◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関する事	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス(カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関する事	24180	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関する事	24170	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関する事	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関する事	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関する事	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LANへの機器接続に関する事	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関する事	24130	konno@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks(パークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮(liber)」の英訳です。

パークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp